

## 印旛沼では今回の前線性降雨に対して予備排水を実施しました。

印旛沼を管理する水資源機構<sup>みずしげんきこう</sup>では、梅雨前線の通過による印旛沼流域での降雨予測に基づき、6月30日午前1時19分から予備排水<sup>\*</sup>を実施しました。

今回の前線性降雨では6月30日～7月4日の間で流域に計228mmの降雨がありましたが、この予備排水（約810万トン）を実施したことにより、印旛沼の最高水位を3.35m（沼平均水位）に抑え、約0.3mに相当する水位低下を図りました。

予備排水の運用については、令和元年10月の豪雨災害などを踏まえ、関係者による「印旛沼に係る浸水被害軽減に向けた調整会議」にて合意されたルールに基づいて実施しており、今回は今年度に入って初めての実施となります。

### ※予備排水

洪水が発生するおそれがある場合に、予め水門や機場を操作して排水を行い、事前に印旛沼の水位を下げる操作

令和3年7月5日



独立行政法人水資源機構 千葉用水総合管理所

発表記者クラブ

千葉県政記者会

水資源記者クラブ

### 問い合わせ先

独立行政法人水資源機構 千葉用水総合管理所 総務課長 おだ小田  
管理課長 うみの海野

住所：千葉県八千代市村上3139

電話：047(483)0722





・予備排水の運用

＜予備排水＞

印旛沼では、洪水が発生するおそれがある場合には、予め水門や機場を操作し、排水を行って、事前に水位を下げることにしています。

＜運用ルール＞

基準降雨量：流域の予測総雨量 100mm 超

低下目標水位：Y.P.+2.5(2.3)m → Y.P.+2.0m ( ) 書き 非かんがい期の水位

※なお、予備排水開始後に予測総雨量が 150mm を超えない場合は、低下目標水位を Y.P.+2.1m とします。

・印旛沼に係る浸水被害軽減に向けた調整会議

平成 25 年の台風被害を受けて、流域の浸水被害軽減対策等について検討及び調整するため、利水者、治水者、関係市町等で構成される調整会議が発足しました。

(事務局：千葉県県土整備部河川環境課・(独)水資源機構千葉用水総合管理所、

第 1 回：平成 25 年 12 月 25 日に開催)

(印旛沼に係る浸水被害軽減に向けた調整会議構成メンバー)

印旛沼土地改良区、印旛郡市広域市町村圏事務組合、長門川水道企業団、JFE スチール(株)、印旛沼漁業協同組合、千葉市、成田市、佐倉市、八千代市、印西市、酒々井町、栄町、農林水産省関東農政局、(独)水資源機構、千葉県企業局水道部・工業用水部、千葉県関係課(総合企画部水政課、農林水産部耕地課、県土整備部河川整備課・河川環境課)、千葉県農林水産部出先機関(印旛農業事務所)、千葉県県土整備部出先機関(千葉土木事務所、印旛土木事務所、成田土木事務所)

(印旛沼の水位と水の流れ)

